

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人旭川医科大学  
学 長 吉 田 晃 敏

旭川医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 2 1 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	38.47人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	171 人	147 人	296.4人	看護補助者	45 人	診療エックス線技師	0 人
歯 科 医 師	5 人	5 人	9.0人	理学療法士	3 人	臨床検査技師	39 人
薬 剤 師	23 人	9 人	32.0人	作業療法士	0 人	衛生検査技師	0 人
保 健 師	0 人	0 人	0. 人	視能訓練士	12 人	その他	0 人
助 産 師	21 人	1 人	21.7人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看 護 師	512 人	70 人	562.5人	臨床工学技士	10 人	医療社会事業従事者	4 人
准 看 護 師	0 人	0 人	0. 人	栄 養 士	0 人	その他の技術員	11 人
歯科衛生士	0 人	1 人	1.0人	歯 科 技 工 士	2 人	事 務 職 員	77 人
管理栄養士	4 人	4 人	8.0人	診療放射線技師	29 人	その 他 の 職 員	31 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	484.4人	6.2人	490.6人
1日当たり平均外来患者数	1,395.7人	41.5人	1,437.2人
1日当たり平均調剤数		1, 1 3 9 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。





(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	内視鏡下頸部腫瘍摘出術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 内視鏡補助下において、頸部の良性腫瘍を摘出する。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	68人	・膿疱性乾癬	6人
・多発性硬化症	26人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	22人	・原発性胆汁性肝硬変	45人
・全身性エリテマトーデス	211人	・重症急性膵炎	4人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	35人
・再生不良性貧血	10人	・混合性結合組織病	15人
・サルコイドーシス	79人	・原発性免疫不全症候群	5人
・筋萎縮性側索硬化症	7人	・特発性間質性肺炎	3人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	141人	・網膜色素変性症	27人
・特発性血小板減少性紫斑病	24人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	39人	・肺動脈性肺高血圧症	6人
・潰瘍性大腸炎	204人	・神経線維腫症	9人
・大動脈炎症候群	15人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	50人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	13人	・慢性血栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	33人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	135人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	11人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	71人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0人
・後縦靭帯骨化症	44人	・肥大型心筋症	0人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	4人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	14人	・リンパ管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	37人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	13人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	0人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・強度変調放射線治療	・
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	24
部 検 の 状 況	部検症例数 34 例 / 部検率 14.0%

1 研究費補助等の実績

連番	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補元又は委託元名	備考
1	北海道臨床開発機構の組織的・機能的充実等	吉田 晃敏	学長	28,679	文部科学省研究振興局	
2	リンパ浮腫次世代治療法—リンパ管新生遺伝子治療のハイブリッド治療法	笹嶋 唯博	副学長	4,030	科学研究所補助金	
3	リンパ浮腫に対する幹細胞増殖因子(HGF)遺伝子治療の治験を目指した前臨床研究	笹嶋 唯博	副学長	5,000	財団法人上原記念生命科学財団	
4	原発性リンパ浮腫の患者動向と診療の実態把握のための研究	松野 丈夫	副学長	12,000	厚生労働科学研究費補助金	
5	ゆるむ事のない人工関節開発へのブレークスルー	相澤 仁志	第一内科	14,377	文部科学省研究振興局	
6	筋萎縮性側索硬化症の治療に関する基礎的研究	川辺 淳一	第一内科	1,040	科学研究費補助金	
7	「高齢者心臓幹細胞抑制剤drug delivery systemの開発	竹原 有史	第一内科	2,000	独立行政法人科学技術振興機構,ISTイノベーションセンター(北海道)	
8	「高齢者心臓幹細胞と人工心臓の心不全臨床試験」(心臓移植の代替療法としての心臓幹細胞移植と人工心臓の併用治療)	竹内 利治	第一内科	6,500	文部科学省研究振興局	
9	虚血性心疾患における心電図同期SPECT(QGS)検査に関する国内臨床予データベース作成のための調査研究—3 慢性腎臓病患者における心電図同期心筋SPECTの有用性検討のための調査研究(J-ACCESSIII)	豊嶋 萬理	第一内科	0	財団法人循環器病研究振興財団	
10	Aアポネクチンの肺癌転移抑制効果の検証	中川 直樹	第一内科	2,340	科学研究費補助金	
11	腎不全病態における血管内皮前駆細胞の役割解明と高機能内皮前駆細胞導入の効果	長谷部 直幸	第一内科	1,040	科学研究費補助金	
12	熱ショック蛋白と酸化的DNA塩基損傷修復による心血管リモデリング抑制の研究	長谷部 直幸	第一内科	2,340	科学研究費補助金	
13	ホルター心電図遠隔診断システム構築に関する研究	平野 史倫	第一内科	5,000	滝川市立病院	
14	IL1β&2を標的とした関節リウマチ滑膜炎の治療戦略に関する研究	岡本 健作	第二内科	910	科学研究費補助金	
15	関節リウマチにおける血管新生・低酸素応答性転写因子の意義解明と新規治療法開発	牧野 雄一	第二内科	2,210	科学研究費補助金	
16	低酸素応答装置による免疫細胞機能調節機構の解明と新規抗炎症療法開発	牧野 雄一	第二内科	1,560	科学研究費補助金	
17	低酸素応答性転写因子を標的とする新規糖尿病性腎症治療法の開発	麻生 和信	第二内科	2,000	科学研究費補助金	
18	新しい診断手法の肝臓癌への応用とこれを用いた肝臓癌のエピデミオロジー構築をめざした多施設共同研究	藤田 征弘	第二内科	330	NPO法人 日肝がん臨床研究機構	継続
19	小腸インククレン細胞における転写および分泌調節機構の解明	石川 千里	第二内科	1,560	科学研究費補助金	
20	腸管上皮細胞を標的とした新規アポトーシス誘導剤の開発	伊藤 貴博	第三内科	2,470	科学研究費補助金	
21	炎症性腸疾患における小胞体分子シヤペロン異常の解明	高後 裕	第三内科	780	科学研究費補助金	
22	微生物認識機構・エフェクター分子産生の制御による炎症性腸疾患治療法の開発	高後 裕	第三内科	2,860	科学研究費補助金	
23	特発性腸管障害患者生体試料の安定的収集法の確立による鉄代謝異常関連遺伝子変異の解析	高後 裕	第三内科	5,000	厚生労働科学研究費補助金	
24	麦芽乳癌腫の腸管組織に対する整理活性の解明と健康食品の開発	佐藤 一也	第三内科	13,000	財団法人北海道科学技術総合振興センター(文部科学省)	
25	腫瘍一腫瘍血管を標的とした熱ショック蛋白・樹状細胞治療による白血病免疫回避の克服	細木 卓明	第三内科	1,690	科学研究費補助金	
26	鉄過剰モデルマウスにおける瀉血および鉄キレート療法による鉄代謝関連分子変異の検出	盛一 健太郎	第三内科	910	科学研究費補助金	
27	パレット食道および食道癌における新しい分子マーカーの同定と新規治療法の開発	盛一 健太郎	第三内科	1,040	科学研究費補助金	
28	パレット食道における異常遺伝子の正常化に基づく新規食道癌予防法の開発	高後 裕	第三内科	2,000	独立行政法人科学技術振興機構,ISTイノベーションセンター(北海道)	
29	初回TS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学療法—GPT-11単独療法 vs TS-1+GPT-11併用化学療法—の無作為比較試験—	進藤 基博	第三内科	0	特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構	継続
30	不死化ヒト白血病幹細胞由来の熱ショック蛋白を用いた新規白血病治療の開発	生田 克哉	第三内科	1,690	科学研究費補助金	
31	ヘパシジン発現調節による生体内鉄感知機構の解明	大竹 孝明	第三内科	910	科学研究費補助金	
32	慢性肝障害と鉄代謝調節異常の病態オーバーラップの分子メカニズム解析	藤谷 幹治	第三内科	1,040	科学研究費補助金	
33	OCINで取り込まれる新規細菌活性物質の腸上皮細胞内動態とMDR11による排出障害	鈴木 康秋	第三内科	1,560	科学研究費補助金	
34	高周波微細血流イメージによる肝癌抗血管新生療法法のモニタリングシステムの開発	鈴木 康秋	第三内科	1,950	科学研究費補助金	
35	新しい診断手法の肝臓癌への応用とこれを用いた肝臓癌のエピデミオロジー構築をめざした多施設共同研究	向井 徳男	第三内科	60	NPO法人 日肝がん臨床研究機構	継続
36	偽性低アルドステロン症に関連する生体試料等の収集に関する研究	藤枝 憲二	小児科	5,000	厚生労働科学研究費補助金	
37	副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	藤枝 憲二	小児科	35,000	厚生労働科学研究費補助金	
38	全新生児を対象とした先天性サイトメガロウイルス(CMV)感染スクリーニング体制の構築に向けたパイロット調査と感染児臨床像の解析エピソードに基づく治療指針の基盤策定	藤枝 憲二	小児科	21,480	厚生労働科学研究費補助金	
39	【委託事業研究課題】成長・成熟障害の遺伝子医療全国ネットワークシステムの構築【分担研究課題】小児内分泌疾患における遺伝子医療基盤の整備	藤枝 憲二	小児科	2,000	国立成育医療センター	
40	候補遺伝子解析並びにハプロタイプ解析による成長障害の成因の同定	藤枝 憲二	小児科	1,690	科学研究費補助金	

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

通番	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元名	備考
41	新生児糖尿病の網羅的な病因・病態の解明と分子診断アソルゴリズムの作成	鈴木 滋	小児科	1,430	科学研究費補助金	
42	静脈グラフト内膜肥厚発生機序の解明	内田 恒	第一外科	1,690	科学研究費補助金	
43	生体材料(コラーゲンビトリゲル)をもちいた新しい治療材料の開発	古川 博之	第二外科	1,300	科学研究費補助金	
44	「Stage II 大腸癌」に対する術後補助化学療法に関する研究(第Ⅲ相臨床試験)	河野 透	第二外科	105	財団法人先端医療振興財団	継続
45	「Stage II 大腸癌」における分子生物学・病理学的マーカーによる再発high-risk群とフッ化ピリミジン感受性群の選択に関する研究」	河野 透	第二外科	0	財団法人先端医療振興財団	継続
46	StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究	河野 透	第二外科	0	財団法人先端医療振興財団	継続
47	初期の骨髄細胞移植の効果に関する基礎的検討	稲垣 光裕	第二外科	1,560	科学研究費補助金	
48	再回TS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学療法—CPT-11単独療法vs TS-1+CPT-11併用化学療法—の無作為比較第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験—	星 智和	第二外科	420	特定非営利活動法人 日本がん臨床試験推進機構	継続
49	人工関節周囲骨融解、骨吸収に関するNFAT1に関する生体力学的研究	山中 康裕	整形外科	910	科学研究費補助金	
50	股関節包と股関節腔の関節軟骨保護機能に関する生体力学的研究	伊藤 浩	整形外科	2,470	科学研究費補助金	
51	角化異常症の病態解明	山本 明美	皮膚科	1,040	科学研究費補助金	
52	乾燥表皮における細胞内情報伝達機構を介する増殖と分化制御の研究	飯塚 一	皮膚科	4,550	科学研究費補助金	
53	メタボリックシンドロームの網膜循環への影響:アディポサイトカインと網膜血管内皮機能	長岡 泰司	眼科	3,000	財団法人武田科学振興財団	
54	糖尿病網膜症における炎症性サイトカインの網膜循環への影響と新規治療法開発	長岡 泰司	眼科	2,000	独立行政法人科学技術振興機構(ISTイノベーションプログラム推進)	
55	糖尿病網膜症におけるアディポサイトカインの網膜循環への影響	長岡 泰司	眼科	1,000	財団法人秋山記念生命科学振興財団	
56	血中プロレリン値と糖尿病網膜症	横田 陽匡	眼科	200	財団法人伊藤医学術交流財団	
57	網膜グリア細胞及び脂肪幹細胞を用いた新しい網膜移植治療の開発	高宮 央	眼科	3,510	科学研究費補助金	
58	扁桃腺疾患の病態解明と扁桃摘出術の有効性の予測法の開発	岸部 幹	耳鼻咽喉科	910	科学研究費補助金	
59	鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるEBウイルス膜蛋白の制御機構と機能解析	高原 幹	耳鼻咽喉科	2,210	科学研究費補助金	
60	高分子黒色腫抗原を標的とした頭頸部扁平上皮癌に対する抗体療法の研究	片山 昭公	耳鼻咽喉科	1,950	科学研究費補助金	
61	鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるEBウイルス標的療法に向けた基礎的研究	原別 保明	耳鼻咽喉科	4,680	科学研究費補助金	
62	ヒト無精子症原因遺伝子の同定および精子形成過程におけるメカニズムの解析	宮本 敏伸	産科婦人科	910	科学研究費補助金	
63	ヒト無精子症関連遺伝子の網羅的解析	千石 一雄	産科婦人科	910	科学研究費補助金	
64	不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	千石 一雄	産科婦人科	802	北海道(厚生労働省)	
65	Tc-99m MIBI心筋SPECTIにおけるwashout及び動態解析	沖崎 貴琢	放射線科	650	科学研究費補助金	
66	1.5テスラ核磁気共鳴装置を用いた人膝関節軟骨のt2値計測に関する研究	稲岡 努	放射線科	1,300	科学研究費補助金	
67	妊娠に伴う内因性鎮痛機序の薬理学的、電気生理学的検索と臨床応用への検討	岩崎 寛	麻酔科蘇生科	1,820	科学研究費補助金	
68	血管リモデリング形成における内因性プロスタノイドの役割解明	高畑 治	麻酔科蘇生科	1,430	科学研究費補助金	
69	デクスメタミジン血中濃度測定法の確立	丹澤 温	麻酔科蘇生科	650	科学研究費補助金	
70	麻酔薬プレコニドインヒビション作用のミトコンドリアイオンチャンネルに与える影響	井保 恭輔	麻酔科蘇生科	1,690	科学研究費補助金	
71	脳機能画像と多チャンネルelectrocorticogram融合による言語機能関連BIMの開発	鎌田 恭輔	脳神経外科	0	独立行政法人科学技術振興機構	
72	脳機能画像と皮質電位時間-周波数解析による言語・記憶機能検出と空間-時間変動解析	鎌田 恭輔	脳神経外科	14,000	科学研究費補助金	
73	皮膚電位、機能画像融合による表情認知ネットワークの解明	鎌田 恭輔	脳神経外科	27,810	科学研究費補助金	
74	皮膚電位時間一周波数/相関解析による脳機能ネットワーク解明と出力バイアスとの融合	鎌田 恭輔	脳神経外科	6,630	科学研究費補助金	
75	認知症診断バイオマーカー探索と神経変性抑制作用素材評価	伊藤 喜久	臨床検査医学講座	2,000	財団法人北海道科学技術総合振興センター(文部科学省)	
76	麻酔切除後の補助化学療法における塩酸フェムタスタビリン療法とS-1療法の第3相比較試験(JASPA001)	結野 修一	臨床検査・輸血部	420	財団法人しずおか産業創造機構	継続
77	肺高血圧の進行度とボセントンによる肺血管リモデリング抑制作用の他覚的評価法の開発	杉本 悦也	集中治療部	1,170	科学研究費補助金	
78	骨髄異形成症候群のミトコンドリア内鉄沈着に関する鉄トランスポーター分子の同定	鳥本 悦宏	腫瘍センター	780	科学研究費補助金	
79	胎児グロブリン遺伝子多型と新生児期に及ぼす影響に関する研究	長屋 建	周産母子センター	1,560	科学研究費補助金	
80	中枢性迷走神経刺激による肝臓発現する遺伝子発現変化の網羅的解析	奥村 利勝	総合診療部	1,100	科学研究費補助金	

小計40件



1 研究費補助等の実績

通番	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元名	備考
81	脂肪細胞における脂質代謝酵素lipinの発現調節機構解明と代謝異常治療への応用	高橋 伸彦	総合診療部	2,080	補 科学研究費補助金	
82	肝脂肪過剰蓄積を中枢へ伝達する迷走神経求心路刺激調節機構の解明と治療への応用	大平 賀子	総合診療部	1,300	補 科学研究費補助金	
83	肺癌におけるPPARを介したVEGF発現調節機構の解析と治療への応用	丹野 幸真	総合診療部	1,690	補 科学研究費補助金	
84	ストレスキナーゼp38MAPKを介した抗癌剤耐性機構の解析と癌治療への応用	丹野 誠志	総合診療部	1,690	補 科学研究費補助金	
85	骨髄由来血管内皮前駆細胞の制御によるがん治療の検討	大崎 能伸	呼吸器センター	780	補 科学研究費補助金	
86	非小細胞肺癌StageⅢB/Ⅳ期に対するCDDP+TS-1療法とCDDP+Docetaxel療法を比較する 第Ⅲ相ランダム化比較試験	大崎 能伸	呼吸器センター	0	特定非営利活動法人 東京がん化学療法研究会	継続
87	エイズ診療向上に関する調査研究	大崎 能伸	呼吸器センター	4,096	委 北海道(厚生労働省)	
88	化学療法未施行ⅢB/Ⅳ期・術後再発肺扁平上皮癌に対するネダブラチン+ドセタキセル併用療法とシスプラチン+ドセタキセル併用療法の無作為化比較第Ⅲ相臨床試験(WJOG5208L)	大崎 能伸	呼吸器センター	0	特定非営利活動法人 西日本がん研究機構	
89	進行再発肺癌におけるゲフィチニブとエルロチニブのランダム化比較試験(WJOG5108L)	大崎 能伸	呼吸器センター	0	特定非営利活動法人 西日本がん研究機構	
90	転移再発乳がんに対するタキサン系薬剤とチーエスワンのランダム化比較試験	北田 正博	呼吸器センター	0	財団法人パブリックヘルスリサーチセンター	
91	吸入麻酔薬が心リズムとイオンチャネルに及ぼす影響に関する基礎的研究	鈴木 昭広	救急部	1,040	補 科学研究費補助金	
92	表皮創傷治療におけるカリクレイン8の機能解析	岸部 麻里	皮膚科・皮膚再生医療センター	1,820	補 科学研究費補助金	

小計12件  
合計92件

## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	発表年月	題名	発表者氏名	所属部門
1 Neuroscience Research	2009.5	Effects of antidepressants on GluR2 Q/R site-RNA editing in modified HeLa cell line	澤田 潤	第一内科
2 INTERNATIONAL HEART JOURNAL	2009.7	Blood Pressure Control and the Reduction of Left Atrial Overload is Essential for Controlling Atrial Fibrillation	田邊康子	第一内科
3 Internal Medicine	2009.6	Brugada Syndrome Whose ST-segment Changes were Enhanced by Antihistamines and Antiallergenic Drugs	松木孝樹	第一内科
4 Internal Medicine	2009.9	Brugada Syndrome Case: Difficult Differentiation Between a Concealed Form and Tricyclic Antidepressant-induced Brugada Sign	田代直彦	第一内科
5 INTERNATIONAL HEART JOURNAL	2009.9	A Case of Brugada Syndrome in Which Diurnal ECG Changes Were Associated With Circadian Rhythms of Sex Hormones	八巻 多	第一内科
6 Journal of Arrhythmia	2009.8	A Comparison of the Acute Phase Cardiac Function Between Septal and Apical Right Ventricular Pacing in Individual Patients	平山康高	第一内科
7 INTERNATIONAL HEART JOURNAL	2010.1	Possible Contribution of Ischemia of the Conus Branch to Induction or Augmentation of Brugada Type Electrocardiographic Changes in Patients With Coronary Artery Disease.	八巻 多	第一内科
8 Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology	2010.3	Prostaglandin I <sub>2</sub> Promotes Recruitment of Endothelial Progenitor Cells and Limits Vascular Remodeling	川辺淳一	第一内科
9 Kidney Int.	2010	High glucose activates HIF-1-mediated signal transduction in glomerular mesangial cells through a carbohydrate response element binding protein.	八巻 多	第二内科
10 GASTROENTEROLOGY	2010	Glucose-Dependent Insulinotropic Polypeptide Is Expressed in Pancreatic Islet $\alpha$ -Cells and Promotes Insulin Secretion.	Yukihiko Fujita	第二内科
11 Int J Cancer	2009.5	Effects of Helicobacter pylori infection on genetic instability, the aberrant CpG island methylation status and the cellular phenotype in Barrett's esophagus in a Japanese population	Morilichi K	第三内科
12 Int J Clin Oncol	2009.6	Current topics and perspectives on malignant lymphoma.	Kohgo Y	第三内科
13 Rheumatol Int.	2009.8	Atypical Takayasu arteritis with solitary stenosis in the short segment of right axillary artery	Ikuta K	第三内科
14 Digestive Endoscopy	2009.7	Endoscopic piecemeal resection is a practical option to cure colorectal tumors.	Fujiya M	第三内科
15 Histopathology	2009.9	Differences in genetic instability and cellular phenotype among Barrett's, cardiac, and gastric intestinal metaplasia in a Japanese population with Helicobacter pylori	Watari J	第三内科
16 癌と化学療法	2009.10	切除不能進行胃癌に対するTS1/GEMおよびUFT/GEM併用療法の検討	笹島順平	第三内科
17 Proteomics-Clinical Applications	2009.8	Heterogeneous expressions of hepcidin isoforms in hepatome-derived cells detected using simultaneous LC-MS/MS.	Hosoki T	第三内科
18 J Innate Immunity	2009.12	Precursor Processing of Human Defensin-5 Is Essential to the Multiple Functions in vitro and in vivo.	Ishikawa C	第三内科

小計18件

2. 論文発表等の実績

雑誌名	発表年月	題名	発表者氏名	所属部門
19 PLoS One	2010.1	Hedgehog promotes neovascularization in pancreatic cancers by regulating Ang-1 and IGF-1 expression in bone-marrow derived pro-angiogenic cells.	Nakamura K	第三内科
20 J Mol Biol	2010.3	Characterization of the interaction between diferric transferrin and transferrin receptor 2 by functional assays and atomic force microscopy.	Ikuta K	第三内科
21 睡眠医療	2010.4	閉塞性睡眠時無呼吸候群に対して持続用厚保呼吸(CPAP)が奏功した総合失調症の1例	吉澤門土	精神医学講座
22 Pediatr Int. 51(4):559-562, 2009	2009.4	Prevalence and risk factors of vitamin D deficiency rickets in Hokkaido, Japan	松尾公美浩	小児科
23 Clin Infect Dis. 48: e93-95, 2009	2009.5	Dried Umbilical Cords in the Retrospective Diagnosis of Congenital Cytomegalovirus Infection as a Cause of Developmental Delays	古谷野伸	小児科
24 BBRC 383: 475-479, 2009	2009.6	Transforming growth factor- $\beta$ 1 induces matrix metalloproteinase-9 expression in human meningeal cells via ERK and Smad pathways	岡本年男	小児科
25 J Hum Genet. 54(8):493-496, 2009	2009.8	Silent exonic mutation in the acid- $\alpha$ -glycosidase gene that causes glycogen storage disease type II by affecting mRNA splicing	Maimaiti M	小児科
26 Heart. 95:2023-8, 2009	2009.8	High serum levels of procollagen type III N-terminal amino peptide in patients with congenital heart disease	杉本昌也	小児科
27 Pediatr Res 66:135-139, 2009	2009.8	aternal Allele of IGF2 Gene Haplotype CTG Is Associated With Fetal and Placental Growth in Japanese.	長屋 建	小児科
28 Brain Dev 31: 625-628, 2009	2009.9	Acute disseminated encephalomyelitis in an infant with incontinencia pigmenti	松本直也	小児科
29 Am J Pathol 176: 320-329, 2010	2010.1	Conditional deletion of neuronal cyclin-dependent kinase 5 in developing forebrain results in microglial activation and neurodegeneration	高橋 悟	小児科
30 Brain Dev 32: 268-274, 2010	2010.2	Effect of neonatal hypoxia on the development of intraspinal serotonergic fibers in relation to spinal motoneurons	田中 肇	小児科
31 Ann Vasc Surg	2009.9	Combined Distal Venous Arterialization and Free Flap for Patients with Extensive Tissue Loss	Tadahiro Sasajima	第一外科
32 乳癌の臨床	2009.4	DCIS109例の臨床的検討	林 諭史	第一外科
33 Surgery. 146(5)	2009.7	Exodus of Kampo, traditional Japanese medicine, from the complementary and alternative medicines: is it time yet?	Kono T	外科学講座 消化器病態外科学 分野
34 Jpn J Clin Oncol.39(12)	2009.12	Preventive Effect of Goshajinkigan on Peripheral Neurotoxicity of FOLFOX Therapy: A Placebo-controlled Double-blind Randomized Phase II Study (the GONE Study)	Kono T	外科学講座 消化器病態外科学 分野
35 Journal of Crohn's and Colitis, 2009	2009.6	Anti-colitis and -adhesion effects of daikenchuto via endogenous adrenomedullin enhancement in Crohn's disease mouse model	Kono T	外科学講座 消化器病態外科学 分野
36 Evidence Based Complementary and Alternative Medicine, 2009	2009.12	Efficacy of Goshajinkigan for Peripheral Neurotoxicity of Oxaliplatin in Patients with Advanced or Recurrent Colorectal Cancer.	Kono T	外科学講座 消化器病態外科学 分野

小計18件

## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	発表年月	題名	発表者氏名	所属部門
37 外科治療	2009.11	日常診療の指針 SSI予防を旨とした胃癌周術期管理の工夫	長谷川公治	外科学講座 消化器病外科 分科
38 Medical Practice 新 精脈造影・経腸栄養ガイド	2009.7	クローズシステムとヘパリンフラッシュの方法	星 智和	第二外科
39 Surgery. 146	2009.9	Portal annular pancreas, a notable pancreatic malformation: frequency, morphology, and implications for pancreatic surgery	唐崎 秀則	第二外科
40 JOURNAL OF ORTHOPAEDIC RESEARCH	2009.8	The Proximal Hip Joint Capsule and the Zona Orbicularis Contribute to Hip Joint Stability in Distraction	Ito, Hiroshi	整形外科
41 SKELETAL RADIOLOGY	2009.9	Three-dimensional computed tomography analysis of non-osteoarthritic adult acetabular dysplasia	Ito, Hiroshi	整形外科
42 Journal of Dermatological Science	2009.2	Prevalence of metabolic syndrome in Japanese psoriasis patients	Takahashi H	皮膚科
43 Indian Journal of Dermatology	2009.7	Cell proliferation and cytokine induction by TNF- $\alpha$ of psoriatic keratinocytes are not different from normal keratinocytes in vitro	Takahashi H	皮膚科
44 Journal of Dermatological Science	2009.8	Photodynamic therapy using a novel photosensitizer, EC036, is more effective compared with ATX-S10(Na) photodynamic therapy	Takahashi H	皮膚科
45 Journal of Dermatological Science	2009.7	Erratum to "Prevalence of obesity/adiposity in Japanese psoriasis patients: Adiposity is correlated with the severity of psoriasis"	Takahashi H	皮膚科
46 Arch Dermatol.	2009.10	Acute edema/cutaneous distention syndrome associated with refeeding in a patient with anorexia nervosa.	kishibe M	皮膚科
47 Exp Eye Res.	2009.6	Effect of aging on retinal circulation in normotensive healthy subjects.	長岡泰司	眼科学講座
48 Eye (Lond)	2009.6	Effect of systemic administration of valsartan, an angiotensin II type 1 receptor blocker, on retinal circulation in healthy humans.	長岡泰司	眼科学講座
49 Ophthalmic Surgery, Lasers and Imaging.	2010.3	Macular Microhole of the Outer Retinal Defect with a Perifoveal Posterior Vitreous Detachment.	高橋淳士	眼科学講座
50 臨床眼科	2009.4	19歳若年者に発症した網膜中心静脈閉塞症に伴う漿液性網膜剥離の1例.	亀山大希	眼科学講座
51 臨床眼科	2009.5	先天トキソプラズマ症例の再発時における治療前後の光干渉断層計所見変化	伊藤はる奈	眼科学講座
52 臨床眼科	2009.4	光干渉断層計にて網膜色素上皮層の不整の再発を認めた交感性眼炎の1例	石羽澤明弘	眼科学講座
53 日本眼科学会雑誌	2009.5	両眼鞏膜様黄斑浮腫を合併した若年者網膜色素変性の長期治療経過と中心高脈絡膜循環変化.	高橋淳士	眼科学講座
54 日本眼科学会雑誌	2009.8	網膜動脈循環動態変化を測定した網膜動脈分枝閉塞症の1例.	大前恒明	眼科学講座

小計18件

2. 論文発表等の実績

雑誌名	発表年月	題名	発表者氏名	所属部門
55 あたらしい眼科	2009.7	多層羊膜移植術が長期間有効であった角膜穿孔の3症例	溜裕美子	眼科学講座
56 Acta Ophthalmol	2009.4	Morphological study of acute zonal occult outer retinopathy (AZOOR) by multiplanar optical coherence tomography	高井佳子	眼科学講座
57 耳鼻咽喉科臨床	2009.4	乳癌甲状腺転移例	長門利純	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
58 日本耳鼻咽喉科感染症研究会誌	2009.5	急性咽頭・扁桃炎(中等症)における重症度スコアを用いた抗菌薬の有用性の検討	吉崎智貴	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
59 日本耳鼻咽喉科感染症研究会誌	2009.5	鼓膜換気チューブ留置を要した小児難治性中耳炎の細菌学的検討	林 達哉	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
60 日本耳鼻咽喉科感染症研究会誌	2009.5	耳鼻咽喉科領域の重篤な感染症の取り扱い 口腔・咽頭領域の重症感染症	坂東伸幸	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
61 喉頭	2009.5	当科における甲状軟骨形成術型の検討	片田彰博	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
62 喉頭	2009.6	機能的電気刺激による神経筋接合部の変化についての検討	野村研一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
63 耳鼻咽喉科臨床	2009.6	ハサミによる顔面創例	長門利純	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
64 Int J Clin Oncol	2009.7	Nasal natural killer (NK)/T-cell lymphoma: clinical, histological, virological, and genetic features	Harabuchi Y	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
65 Clin Exp Immunol	2009.7	Up-regulation of CC chemokine receptor 6 on tonsillar T cells and its induction by in vitro stimulation with alpha-streptococci in patients with pustulosis palmaris et plantaris	Yoshizaki T	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
66 JOHNS	2009.7	【耳鼻咽喉科と副腎皮質ステロイド エビデンスを探る】副腎皮質ステロイド治療の臨床 ウェガナー肉芽腫症	岸部 幹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
67 Auris Nasus Larynx	2009.8	A case of invasive paranasal aspergillosis that developed from a non-invasive form during 5-year follow-up	Ota R	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
68 耳鼻咽喉科臨床	2009.8	喉頭原発悪性リンパ腫例	石田芳也	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
69 感染症	2009.9	耳鼻咽喉科領域の新興・再興感染症と重症感染症	原渕保明	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
70 Laryngoscope	2009.9	Rehabilitation of bilaterally paralyzed canine larynx with implantable stimulator	Zealear DL	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
71 日本耳鼻咽喉科学会 会報	2009.10	耳鼻咽喉科とTranslational Research 扁桃を病巣としたIgA腎症の発症機序の解明	原渕保明	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
72 耳鼻咽喉科臨床	2009.10	右反回神経麻痺を伴った原発性甲状腺結核例	野村研一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

小計18件

2. 論文発表等の実績

雑誌名	発表年月	題名	発表者氏名	所属部門
73 耳鼻咽喉科臨床	2009.10	小児に発症した水平半規管型BPPV例	吉野和美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
74 Q&Aでわかるアレルギー疾患	2009.10	【話題の食物アレルギー】シラカバの免疫療法はクラスII食物アレルギー(口腔アレルギー-症候群)にも有効ですか?	長門利純	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
75 Clin Cancer Res	2009.11	Production of interferon-[gamma]-inducible protein-10 and its role as an autocrine invasion factor in nasal natural killer/T-cell lymphoma cells	Moriai S	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
76 新薬と臨床	2009.11	シラカバ花粉症患者に対する実態調査およびロイコトリエン受容体拮抗剤の有用性の検討	森合重誉	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
77 耳鼻咽喉科臨床	2009.11	喉頭軟骨肉腫例	吉野和美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
78 耳鼻咽喉科臨床	2009.11	右側下咽頭梨状陥凹腫例	小林祐希	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
79 耳鼻咽喉科臨床	2009.11	耳下腺上皮筋上皮癌例	佐々木卓也	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
80 耳鼻咽喉科臨床	2009.12	上顎洞に散弾が遺留した頬部銃創例	駒林優樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
81 耳鼻咽喉科臨床	2009.12	外耳道腺様嚢胞腫例	太田 亮	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
82 耳鼻咽喉科臨床	2010.1	掌蹠膿疱症における扁桃摘出術についてのアンケート調査 耳鼻咽喉科医および皮膚科医からみた考え方	吉崎智貴	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
83 Neurosci Res	2010.2	Carbachol injection into the pontine reticular formation depresses laryngeal muscle activities and airway reflexes in decerebrate cats	Adachi M	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
84 リウマチ科	2010.2	耳鼻咽喉科医の観点からみたWegener肉芽腫症 診断基準を満たさない症例をどう考えるか?	原淵保明	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
85 耳鼻咽喉科臨床	2010.2	一側性の難聴で発見されたWaardenburg症候群型例	吉崎智貴	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
86 Clin Neurol Neurosurg	2010.3	Laryngeal plexiform schwannoma as first symptom in a patient with neurofibromatosis type 2	Nagato T	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
87 JOHNS	2010.3	【耳鼻咽喉科・頭頸部画像アトラス】鼻副鼻腔 Wegener肉芽腫症	岸部 幹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
88 JOHNS	2010.3	【耳鼻咽喉科・頭頸部画像アトラス】頭頸部 悪性リンパ腫	原淵保明	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
89 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2010.3	気道確保に体外循環補助を必要とした甲状腺扁平上皮癌の1例	後藤 孝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
90 Int J Gynecol Cancer	2009.11	Management of pelvic lymph nodes by sentinel node navigation surgery in the treatment of invasive cervical cancer	H Katayama	産科婦人科

小計18件

2. 論文発表等の実績

雑誌名	発表年月	題名	発表者氏名	所属部門
91 J Assist Reprod Genet	2009.10	LMTK2 and PARP-2 gene polymorphism and azoospermia secondary to meiotic arrest	T Miyamoto	産科婦人科
92 Asian J Androl	2009.9	A single nucleotide polymorphism in SPATA17 may be a genetic risk factor for Japanese patients with meiotic arrest	Miyamoto T.	産科婦人科
93 Cancer Sci	2009.5	Core fucosylation of E-cadherin enhances cell-cell adhesion in human colon carcinoma WiDr cells	Sengoku K	産科婦人科
94 北海道産婦人科学会誌	2009.5	高齢者の腹腔鏡手術	西脇邦彦	産科婦人科
95 CLINICAL NUCLEAR MEDICINE	2009.9	Transient Brain Hyperperfusion Detected With I-123 IMP SPECT in a Patient With Neuropsychiatric Systemic Lupus	Okizaki, Atsutaka	放射線医学講座
96 脳神経外科速報	2009.8	妊娠を契機とした脳血管障害の検討	安栄良悟	脳神経外科
97 Progress in Medicine	2009.11	中大脳動脈狭窄症にシロスタゾール(プレタール)を追加し血管狭窄の改善と脳虚血発作の消失をみた1例	齋藤仁十	脳神経外科
98 脳神経外科速報	2010.2	乳幼児腹臥位手術における Prone ViewR の使用経験	安栄良悟	脳神経外科
99 日本バーチャルリアリティ学会誌	2010.1	Heavy-T2強調/MR angiography融合三次元画像を用いた脳幹部手術シミュレーション	鎌田恭輔	脳神経外科
100 Neurological Science	2010.1	血栓化脳動脈瘤	鎌田恭輔	脳神経外科
101 小児口腔外科	2009.12	粘膜下口蓋裂の手術方法	松田光悦	歯科口腔外科学講座
102 J Anesth. 2010 ;24:124-7	2010.2	Displacement of the epiglottis during intubation with the Pentax-AWS Airway Scope	Suzuki A	麻醉・蘇生学講座
103 J Clin Gastroenterol.	2010	Endoscopic auto-fluorescence imaging is useful for the differential diagnosis of intestinal lymphomas resembling lymphoid hyperplasia	Ueno N	救急部
104 消化器と免疫 46:	2010.3	麦芽乳酸菌(L.brevis SBC8803)死菌の腸管組織に対する生理活性性の解明.	上野伸展	救急部
105 Respirology, 14:282-289	2009.5	Bronchoscopy in Japan: A survey by the Japan Society for Respiratory Endoscopy in 2006.	大崎 能伸	呼吸器センター
106 気管支学, 31(3): 127-140	2009.5	2006年アンケート調査からみた国内における気管支鏡の実態(2次出版)	大崎 能伸	呼吸器センター
107 肺癌, 49: 146-150, 2009.	2009.5	後期高齢者進行非小細胞肺癌に対するバクリタキセルとカルボプラチン併用化学療法の実験.	奥村 俊介	呼吸器センター
108 Oncology Report, 22: 81-87	2009.6	High incidence of chromosomal abnormalities at 1p36 and 9p21 in early-stage central type squamous cell carcinoma and squamous dysplasia of bronchus detected by autofluorescence bronchoscopy.	大崎 能伸	呼吸器センター

小計18件

2. 論文発表等の実績

雑誌名	発表年月	題名	発表者氏名	所属部門
109 肺癌, 49(3):268-272	2009.6	神経内分泌形質を有する腺癌を混在した肺混合型小細胞癌の一例	北田 正博	呼吸器センター
110 乳癌の臨床, 24(4):503-507	2009.8	DCIS109例の臨床的検討	北田 正博	呼吸器センター
111 J Thrac Oncol, 4(9):1104-10	2009.9	Serum osteopontin levels are highly prognostic for survival in advanced non-small-cell lung cancer: results from JMT0-0004	大崎 能伸	呼吸器センター
112 British Journal of Cancer, 101(9): 1549-1554	2009.11	A phase-II trial of dose-dense chemotherapy in patients with disseminated thymoma: report of a Japan Clinical Oncology Group trial (JCOG 9605)	大崎 能伸	呼吸器センター
113 気管支学, 31(6):374-375	2009.11	論評 岡安ら“気管支鏡下アルゴンプラズマ凝固後区域切除を行った気管支原発神経鞘腫の1例”	大崎 能伸	呼吸器センター
114 胸部外科, 62(12): 1097-1099	2009.11	胸壁側発生と思われた臓胸膜発生孤立性線維性腫瘍の1例	北田 正博	呼吸器センター
115 Arterioscler Thromb Vasc Biol, 30: 464-470, 2010, originally published online Dec. 10, 2009.	2009.12	Prostaglandin 12 Promotes Recruitment of Endothelial Progenitor Cells and Limits Vascular Remodeling.	奥村 俊介	呼吸器センター
116 General Thoracic and Cardiovascular Surgery, 58(2): 87-90	2010.2	Clear Cell carcinoma of the lung	北田 正博	呼吸器センター
117 日本輸血細胞治療学会誌	2009	旭川医科大学病院における輸血前・輸血後感染症検査の実施状況	紀野修一	臨床検査・輸血部
118 日本輸血細胞治療学会誌	2009	輸血部門における危機的出血への対応に関するアンケート調査結果	紀野修一	臨床検査・輸血部
119 脈管学	2010.3	血行再建術前後におけるバスキュラーポの役割と重要性	赤坂和美	臨床検査・輸血部
120 Journal of Health Science	2009.10	Hot-water-extracts of Polygonum Multiflorum Do Not Induce Any Toxicity but Elicit Limited Beneficial Effects on the Liver in Mice	Toshihiro Noda	薬剤部
121 Journal of Chromatography B	2009.6	Detection of landiolol using high-performance liquid chromatography/fluorescence: a blood esterase-sensitive ultra-short-acting beta(1)-receptor antagonist	Manabu Suno	薬剤部
122 医療薬学	2009.9	処方入力時の体表面積をベースとした注射薬オーダ上限量警告システム	粟屋敏雄	薬剤部
123 癌と化学療法	2009.8	進行性大腸癌患者へ感覚性神経障害用部位別問診票を用いたOxaliplatinの末梢神経毒性発現の検討	里見真知子	薬剤部
124 日本病院薬剤師会雑誌	2010.2	後発医薬品使用促進における問題点「後発医薬品への変更可」処方せんの実態と患者意識の調査	大滝康一	薬剤部
125 日本遠隔医療学会雑誌 第5巻第2号	2009.10	一般外来患者を対象とした遠隔医療に関する意識調査結果の報告	三上大季	医工連携総研講座
126 日本遠隔医療学会雑誌 第5巻第2号	2009.10	眼科遠隔医療における有効性の検証	守屋 潔	医工連携総研講座

小計18件



## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	発表年月	題名	発表者氏名	所属部門
日本遠隔医療学会雑誌 第5巻第2号	2009.10	腹膜透析におけるD2P遠隔医療の有効性の考察	守屋 深	医工連携総研講座
日本遠隔医療学会雑誌 第5巻第2号	2009.10	眼科遠隔医療支援における有効画像解像度の評価	林 弘樹	医工連携総研講座
日本遠隔医療学会雑誌 第5巻第2号	2009.10	北海道における遠隔医療モデルプロジェクトの実施報告	吉田晃敏	学長

小計3件

合計129件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 松野丈夫
管理担当者氏名	総務課長 山内一昭、会計課長 今田敏文、経営企画課長 高見澤昭彦 医療支援課長 井上義彦、薬剤部長 松原和夫

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院事務部 医療支援課 経営企画課 薬剤部	コンピューターによる集中管理を行っている。 カルテ等病歴資料、外来・入院別に1患者1ファイル方式とし、エックス線写真は分冊になっているが1患者単位での管理を行っている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部総務課	
	高度の医療の提供の実績	病院事務部経営企画課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務部総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務部総務課 病院事務部経営企画課	
	閲覧実績	病院事務部経営企画課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院事務部経営企画課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院事務部経営企画課	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務部総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務部総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務部総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	病院事務部医療支援課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
	各号及び第九條	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務部総務課
	第二十三條	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部
	第一項	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務部総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務部会計課
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 高橋昭二
閲覧担当者氏名	経営企画課長 高見澤昭彦
閲覧の求めに応じる場所	病院会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	67.5%	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		9,270人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		5,213人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,121人
	D：初診の患者の数		17,883人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・指針の主な内容： (1) 安全管理の基本理念 (2) 安全管理組織体制の整備 (3) 部門の長の管理責任の明確化 (4) 診療マニュアルの活用(本編・携帯ポケットマニュアル) (5) インシデントと医療事故の用語の定義 (6) インシデント報告体制 (7) インシデント報告体制の時間外緊急連絡網の整備 (8) 本院における医療安全管理体制 (9) 医療事故発生時の対応 (10) 医療関連死・C P A-O A 症例の剖検に関する指針 (11) 医療相談窓口の設置 (12) 本指針改正の定義</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・活動の主な内容： (1) 医療事故防止対策の検討及び推進 (2) 医療事故防止の啓発活動(講演会等の企画立案を含む) (3) インシデント報告の調査及び分析を行い、その改善策を講じ、改善事項・周知事項の周知徹底を図る (4) 医療事故防止対策マニュアルの見直し (5) 医療の安全に関する最新情報及び警鐘事例の職員への周知</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 2 回
<p>・研修の主な内容： 初任者研修(新規採用研修医・看護師)、新規採用医師・中途採用者の教育(看護師、事務職員、コ・メディカル)、ME機器セミナー(輸液ポンプ・シリンジポンプ：2回)、一次救命救急処置・AED研修(3回)、輸血実施手順講習会、事例検討会(2回：事例別)、医療機器安全使用推進者養成講座(2回)、医療事故防止安全週間用ポスターの作成、ME機器安全使用セミナー(心電図モニター：2回)、人工呼吸器安全使用手順講習会(3日間：内容別)、外部講師による特別講演会、各部門における安全の取り組み報告会&amp;ポスターセッション(2日間：内容別)、eラーニングで学ぶ医療安全</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・その他の改善のための方策の主な内容： (1) インシデント事例をリスクマネージャー連絡会議に提起し、分析結果について院内に周知。 (2) 植え込み型除細動器移植術のためのガイドワイヤーを挿入する際、先端のインサーターが静脈内に迷入し、右肺動脈A10血管内に遺産した事案に対し、医療安全管理部ホームページにて、再発防止に資する事例として公表、挿入手順を策定し関係医師へ配布した。 (3) 人工呼吸管理下における吸入療法のガイドラインを策定。 (4) 転倒転落事故防止のための標準予防策として、アセスメントシートを検証、改訂し、3カウント運動ポスターを掲示し、入院患者への転倒転落予防リーフレットを作成した。 (5) 内服薬の管理方法の判断手順の見直しのため、リスク評価表を見直し、内服薬管理の判断ツールを策定。 (6) 身障者用トイレ背部の配管に頭部を打った事例から、リスク軽減のため、外来棟多目的トイレ5か所、中央採血室車椅子用トイレに背もたれ(背部配管の保護)を設置。 (7) 化学療法併用髄注に関するプロトコルチェックの改善として、投与経路が髄注の場合、該当するRp内の全ての薬剤がプロトコルと一致しているか薬剤部で確認することとした。 (8) 光学医療診療部に対して、検体の確認・サイン済み管理簿の作成と保管について提言し個人生検瓶を入れるトレイを導入した。 (9) 緊急医療体制の院内39か所(41台)の救急カートを標準化し、「使用可」と「点検整備中」の標識を作成、カート標準装備状況を整備。 (10) 「アマリール」「アルマール」の名称類似薬品の「アルマール」を後発医薬品「セオノマル」に変更。</p>	

(11) 「インスリン使用ガイド第5版」改定。 (12) 「経口抗がん薬安全服用ガイドライン」の作成。 (13) 「糖尿病薬運用マニュアル」の作成。 (14) 「検査・処置・手術を行う際の抗血栓薬の院内安全使用指針」の作成。 (15) 診療マニュアル「医療事故防止対策編（第5版）」発行。 (16) e-ラーニングの教材を、麻酔科、口腔外科、放射線部からの解説と問題を加え、看護師のガンマ計算問題の内容を変更し、一部改訂した。 (17) 心電図モニターのリニューアルにおいて、メーカー2社のデモンストレーションを加え、危険な不整脈のポイント・電極の付け方・アラーム設定・モバイルへの接続について復習し、モニターの無駄なり防止対策を学習。 (18) 「輸液ポンプ・シリンジポンプ使用マニュアル」の改定。 (19) 患者誤認対策として、見間違いやすい病室の番号表示を明確化した。 (20) 「医療安全ポケットマニュアル（第3版）」発行。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (4名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・所属職員： 専任（3）名 兼任（6）名 ・活動の主な内容： (1) 医療の質の向上及び安全に関する事項。 (2) インシデントレポート等に関する調査・分析。 (3) 医療事故防止のための改善策の策定・実施及び周知。 (4) 医療調査委員会開催の判断。 (5) 院内各部署における医療安全管理状況の点検。 (6) 医療の安全性に係る教育および研修。 (7) 医療の安全に関する最新情報及び警鐘事例の職員への周知。 (8) 医療事故防止対策マニュアルの見直し。 (9) 医療安全に関する院外への情報提供。 (10) その他医療安全に関する事項。	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>院内感染対策に関する基本的な考え方・組織的な取り組み</li><li>院内感染対策のための職員研修に対する基本方針</li><li>感染症発生状況の報告に関する基本方針</li><li>院内感染発生時の対応に関する基本方針</li><li>患者に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li><li>その他の当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li></ul></li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 2 5 回
<ul style="list-style-type: none"><li>活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>院内感染の予防に関すること</li><li>院内感染の情報収集に関すること</li><li>感染源の追及等のための検査実施に関すること</li><li>防疫対策の確立に関すること</li><li>HIV感染症の医療体制に関すること</li><li>その他、院内感染対策についての重要事項に関すること</li></ul></li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 5 回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>初任者研修オリエンテーション（講義）</li><li>閉鎖式輸液ライン操作演習</li><li>手指衛生・PPE着脱演習</li><li>院内感染対策に係る講演会</li></ul></li></ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</li><li>その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>微生物検査室と連携し、微生物の新規検出状況を毎日把握している。当該部署の感染対策マネージャーに連絡を行い、感染予防策の実施について確認している。</li><li>微生物の検出状況に応じて部署ラウンドを実施し、感染対策実施状況の確認と指導を行っている。</li><li>感染制御部における「適正な手指衛生・個人防護具の着用演習」について、新規採用職員中途採用職員全体に実施している。また、教育対象を院内全体に拡大し実施した。</li><li>擦式手指消毒剤・手洗い石鹸の消費状況を院内に通知した。また、「適切な手指衛生・個人防護具着用の推進」に係る通知やポスターの作成を行い、手指衛生の推進を図った。</li><li>感染対策リンクナースと共に各部署の「感染対策オーディット」を行い、感染対策実施状況のより細やかなチェックと指導を行った。</li><li>抗MRSA薬・カルバペネム薬の監視体制の構築。</li></ul></li></ul>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4回
・ 研修の主な内容： (1) 初任者研修 (対象：看護師) 薬の基礎知識について：H21.4.2 69名 (薬の作用と取扱いについて) (2) 新規採用医師並びに中途採用者の教育 医療安全の基本的考え方 H21.5.12 13名、H21.5.18 18名 (3) 医療安全に関する講演会 ヒューマンエラーと危機管理 H22.2.12 199名	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： (1) 総則 (2) 医薬品の採用 (3) 医薬品の購入・管理 (4) 薬剤部における医薬品の管理 (5) 病棟・各部門への医薬品の供給 (6) 外来患者への医薬品使用 (7) 入院患者への医薬品 使用 (8) 麻薬管理 (9) 院内製剤 (10) 他施設との連携 (11) 医療事故防止および発生 時の対応 (12) 教育・研修	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 厚生労働省医薬食品局：医薬品・医療機器等安全性情報 (2) 日本製薬団体連合会：Drug Safety Update (3) 各メーカー・卸からの回収情報等の収集	



医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年10回程度
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>定期研修 安全に使用するための講習会(シリンジポンプ、輸液ポンプ、パルスオキシメーター) 医療機器の安全使用推進者養成講座(シリンジポンプ、輸液ポンプ) ME機器安全使用セミナー 人工心肺操作時のトラブル対応シミュレーション 人工呼吸に関する説明及び人工呼吸中のケア</p> <p>新しい医療機器の導入時の研修 麻酔器に関する取り扱い説明会 眼内ガスに関する説明会 人工心肺回路に関する説明会 内視鏡装置に関する説明会</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>(1) シリンジポンプ、輸液ポンプ及び経腸栄養ポンプは中央管理による日常点検及び定期点検 (2) 人工呼吸器は始業点検、使用中点検、終業点検及びメーカーによる定期点検 (3) 血液浄化装置は始業点検及びメーカーによる定期点検 (4) 除細動器は点検器具を用いた臨床工学技士による定期点検 (5) 人工心肺装置及び補助循環装置は始業点検及びメーカーによる定期点検</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 情報収集の方法</p> <p>① 医療機器に関する情報提供のホームページを活用 ② メーカー主催のメンテナンス講習会への参加 ③ 医療機器に関連する学会への参加 ④ メーカー担当者からの報告及び情報の収集</p> <p>(2) 情報の周知</p> <p>① 定期的な報告(医療機器安全使用に関する検討会の実施) ② 文書配付による通知 ③ メーカー担当者から関連部署への通知の依頼</p>	